

新山げんきっ子通信

<新山保育園>

平成 27 年 11 月

新山の皆さん、こんにちは！

先日の日曜日の朝、偶然テレビを見ていたら『遠くへ行きたい』という番組に、新山の藤原さんが出ていましたね。伊那谷の風物詩でもある「蜂追い」の様子や、箕輪の「赤蕎麦の畑」など、秋の素晴らしい自然とともに、藤原さんの手入れされた松茸の林が紹介されていました。あっちにも、こっちにも、と続々と生えている松茸を、私も初めて見ました。番組の案内役、ドラクドラゴン・塚地さんでなくても、感嘆！してしまいます。

秋と言えばやっぱり…… 「味覚の秋」「実りの秋」「収穫の秋」

保護者の筒井さんからいただいた「松茸」を、保育園で調理しました。「松茸ご飯」に「松茸のお吸い物」です。この日ばかりは、給食室から流れてくる「良いにおい」に、「おなかすいた～」と言う子どもたちでした。



見事なマツタケ！量って見たら、2キロはありました。



こんなにたくさんマツタケを調理したのは、生まれてはじめてでした。刻むの大変！でしたよ。



続いて、10月半ばには、JA上伊那青壮年部の皆さんのご協力で、稲刈り体験をしました。富県保育園の前にある、年長の子どもたちが6月に田植え体験もさせてもらった田んぼでの稲刈りです。稲刈り鎌での本格的な稲刈り、今では、農家の子どもたちでも、なかなか経験できないことです。おいしいお米が取れるまでに、半年もかかるんだよね。



はぎ掛け！天日干し！
今では貴重になりました。

作業したあとの子どもたち。
いい表情！！



夏の終わり頃、玉葱を収穫したあとの保育園の畑に蒔いた小さな黒い大根の種は、園舎で日陰になって板のにもかかわらず、こんなに見事な大根に成長してくれました。この大根を使って子どもたちみんなでおでんを作りました。



年長さんが抜いた大根を、ひよこさんが持ってパチリ

秋を楽しむ……

秋……、運動会を終えたあとの子どもたちは、秋の自然の中に飛び出して行きました。山の中では木の实、野原や田畑には虫たち、そしてなんとと言っても一番楽しいのはこの**土手すべり**!!

1歳・2歳の赤ちゃん組の子どもたちも、お兄さんお姉さんの真似をして滑り降ります。



刈り取りの終わった田んぼの土手をお借りしました。持ち主の方、ありがとうございます!

ハロウィンのパレードは、みんなで仮装してのにぎやかパレード。



おうちのみなさんが待っていてくれて、お菓子をいっぱいもらいました。

下新山コミュニティセンターで、おばあちゃんたちに歌を披露しました!



おままごと、秋のご馳走!

園庭の桜やイチョウ、ユリノキの木の葉が落ちて、格好のおままごとの材料です。

せんせ〜。食べに来てね〜。

おかげさまで……

「冬支度」「通路」「屋根の塗り替え」

秋の園庭作業で、保護者の皆さんに、園舎の窓をビニールで覆う作業や発泡スチロールで空気口を塞ぐ作業をしていただきました。これで安心して冬が過ごせます。

また、玄関前に念願の通路も出来ました。雨が降るとぬかるんでしまって、登降園に支障をきたしてしまっていたので、本当におかげさまでした。雪が降っても大丈夫かな?

また、屋根のペンキ塗り替えも、子育て支援課で手配していただき、作業を進めています。今月中には作業が終わる予定です。



こんなに素敵な通路が出来ました。ありがとうございました。